

※本リリースは12月8日BANQUE DE FRANCE発表リリースの日本語翻訳です。

プレス・リリース

2011 年 12 月 8 日

欧州銀行における資本増強の必要性に関する 欧州銀行監督機構(EBA)によるストレステスト: 仏銀行に関する結果について

EBA は、ソブリン債エクスポージャーに関する懸念に対処するために、2011 年 10 月 26 日の欧州理事会(EC) で承認された条件に沿って資本不足額を明らかにするためのストレステストを実施してきました。

2011 年 10 月 27 日に発表された暫定的結果は、2011 年 6 月 30 日時点のデータに基づいて出されたものですが、欧州銀行の資本増強の必要性に関する最終決定は、2011 年 9 月 30 日時点のソブリン債エクスポージャーに基づいています。

2011 年 7 月のストレステストで既に対象となった 71 行に対し、資本の適切な水準を維持しながら、更に様々な衝撃に耐え得る銀行の能力を実証するための資本のバッファを増強することを目的として、このストレステストが実施されました。

銀行セクターは 2012 年 6 月末までに、2011 年 9 月 30 日時点のソブリン債エクスポージャーの時価評価を反映した影響額も含めて、中核的自己資本の比率(コアティア1)の目標値である 9%を満たすことが義務づけられています。尚、計算手法は EBA のウェブサイト(www.eba.europa.eu)に掲載されています。

当テストの対象となった BNP パリバ、BPCE グループ、クレディ・アグリコル・グループ、ソシエテ・ジェネラルの四大銀行は、フランスの銀行セクターの 80%を占めていますが、資本不足額は全体で 73 億ユーロと算定されました。暫定結果の 88 億ユーロからは改善が見られ、これは特に四行の 2011 年第 3 四半期が好業績であったことによるものです。仏プルデンシャル監督機構のクリスチャン・ノワイエ会長は、こうした堅調な業績を歓迎し、銀行セクターの資本増強には政府による支援を必要としないであろうと述べました。

各銀行は、2012 年 1 月 13 日までにプルデンシャル監督機構に資本増強計画を提出することになっており、2012 年 6 月 30 日までに中核的自己資本比率を目標値の 9%に引き上げる能力があることを実証しなければなりません。

各銀行の詳細な状況につきましては、別表の通りです。

別表
EBA ストレステストによる資本増強必要額

2011 年 9 月 30 日現在	CRD(資本要求指令)3 後の中核的自己資本 (1)	CRD(資本要求指令)3 及びソブリン債エクスポ ージャー・バッファ 勘案後の中核的自己資 本(2)	ソブリン債エクスポ ージャー・バッファ勘案後 の中核的自己資本 9% 水準への資本不足額 (2)	内ソブリン債エクスポ ージャー・バッファによる 不足分(2)
BNP パリバ	9.16%	8.76%	15 億ユーロ	25 億ユーロ
クレディ・アグリコ ル・グループ	9.23%	9.23%	0	0
BPCE グループ	8.34%	8.11%	37 億ユーロ	10 億ユーロ
ソシエテ・ジェネラ ル	8.42%	8.42%	21 億ユーロ	0

(1) この算定には、2011 年 9 月 30 日現在の中核的自己資本比率に対する CRD(資本要求指令)3 の推定影響額(2011 年 12 月 31 日に発効)を含んでいます。従って、同日の規制上の要件とは異なります。

(2) バッファは、2011 年 9 月 30 日現在の時価に基づくものであり、EBA(www.eba.europa.eu)が掲載する計算手法に沿った算定額です。